



平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ  
 (JASDAQ・コード3174)  
 代表者名 代表取締役社長 田 泰夫  
 問合せ先 取締役経営企画室長 追川正義  
 電話番号 03-3562-7525

## 通期業績予想と実績値の差異及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 28 年 3 月 29 日に修正した通期業績予想と実績値に差が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 8 月期 通期業績予想と実績値との差異 (平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,200	百万円 250	百万円 218	百万円 60	円 銭 23.69
実績値 (B)	17,028	151	118	△ 214	△ 84.78
増減額 (B-A)	△ 172	△ 99	△ 100	△ 274	—
増減率 (%)	△1.0	△39.6	△45.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 8 月期)	16,973	210	171	53	21.18

#### 2. 業績予想と実績値の差異発生の理由

売上高は、値ごろ感のある価格帯の商品展開や催事等の取組みを強化したことで、ほぼ業績予想通りとなり前年実績を上回ったものの、売上総利益が予想額 4,186 百万円に対して実績値 4,062 百万円 (増減額△124 百万円、増減率△2.9%) と想定を下回ったことにより、営業利益及び経常利益が前回発表予想額を下回りました。

また、3. に記載のとおり、積極的に特別損失を計上した結果、当期純利益において予想額との乖離幅が大きくなりました。

これらの理由により、業績予想と実績値との差異が発生いたしました。

#### 3. 特別損失の発生

当社は、今般、中期的な企業価値の向上に向けた中期経営計画及び年度予算 (平成 29 年 8 月期) を策定いたしました。そこでは不振店対策の強化を打ち出すとともに、予想される外部環境の厳しさを踏まえて、各店舗の今後の収支見通しを精査いたしました。この結果、過去業績が不振で、将来においても期待される利益が確保できない店舗が発生したため、これら店舗を減損対象とし、特別損失として減損損失 254 百万円を計上いたしました。

その他特別損失として、店舗の積極的な改装に伴う固定資産廃棄損 19 百万円、閉店実施店舗及び閉店予定店舗の店舗閉鎖損失 16 百万円、さらに韓国子会社 (非連結) の解散決定に伴う追加的な投資損失引当金 (子会社清算損失) 32 百万円を計上いたしました。

これらの特別損失合計 322 百万円を平成 28 年 8 月期決算に計上いたしました。

以 上